

# 日本天文学会評議員会 議事録

日時：2000年1月29日（土） 11時00分～15時00分

場所：東京大学理学部3号館 303教室

出席者：今井、尾崎、小杉、佐藤、半田、松田、

岡村、奥田、小山、須藤、福島、吉田

出席者11名 欠席者 18名うち有効委任状8名。

他に理事会から大石理事、立松理事、紀伊理事、有本理事、渡部天体発見賞選考委員会委員長、中井研究奨励賞選考委員会委員長が出席

議事に先立ち、議長に半田利弘氏を、署名人に佐藤勝彦氏、福島登志夫氏を選出した。

## 議事の経過及び結果

1. 前回（1999年10月8日）の評議員会議事録が報告され、承認された。早川幸男基金選考結果、IAU京都総会記念基金選考結果の報告があった。また、秋季総会で発表することが決定された「独立行政法人化に関する学会声明文」に関して今井評議員から今後の取り組みに関して質問があった。記者会見を開く、学会Webページに載せる、他の学会にも伝達するなど、より国民に訴えるような取り組みをするべきではないかとの意見が出された。
2. 2000年度春季年会で表彰する天体発見賞、林忠四郎賞、欧文報告論文賞の受賞候補者がそれぞれ渡部天体発見賞選考委員会委員長、奥田欧文報告論文賞選考委員会委員長より下記のように報告され、承認された。

新天体発見賞：山本稔氏、多胡昭彦氏、青木昌勝氏、高見沢今朝男氏、串田麗樹氏

天体発見功労賞：串田麗樹氏

林 忠四郎賞：中島 紀氏

欧文報告論文賞：小山勝二氏他7名

Discovery of Non-Thermal X-ray from the Northwest Shell of the New SNR RX J1713.7-3946 : The Second SN 1006 ?

PASJ, vol. 49, pp. L7 -- L11 (1997)

なお、研究奨励賞について、候補者名が中井研究奨励賞選考委員会委員長から報告されたが、研究が共同研究でありかつ共同研究者の学位論文となっていることから、研究に対する候補者の貢献度等を調査・確認することとなり、結論はそれをみてから出すこととなった。

また天体発見賞に関連して、昨年1月の評議員会から天体発見賞選考委員会で検討することを要請された、新天体の定義や天文学に対する寄与の多さを表彰対象にするかどうかについて渡部天体発見賞選考委員会委員長より委員会での検討結果の報告が行なわれた。現状の新天体の定義には当てはまっていないが観測量や発見数の多い場合、長期間にわたるデータの積み重ねも表彰すべきではないかとの報告であり、選考委員会でさらに議論を積み重ねて7月の評議員会までに結論を出し、必要ならば10月の秋季総会で細則の改訂等を行なうこととした。